

読んでみよう 解いてみよう
さん太のワークシート

邑久小（瀬戸内市）のマスコットキャラクターをモデルにした糸操り人形ができました。記事を読み質問に答えましょう。

邑久小（瀬戸内市邑久町山田庄）のマスコットキャラクター「おーくん」をモデルにした糸操り人形が完成した。6年生が考案したデザインをもとに、地元のアマチュア人形劇団が制作。校内のクラブ

活動で人形劇を学んでいる児童が新入生への学校紹介などで活用する。同市は世界的に活躍した人形師・竹田喜之助（1923～79年）の出身地であり、人形劇文化の発信にもつなげる。（岡亮佑）

児童考案 邑久小マスコットキャラ「おーくん」



「おーくん」の糸操り人形を持つ細野さん（中央）

おーくんは、邑久小のと、昨年の夏休みにイラククラブの指導者で、ア頭文字にちなんで顔がストを考案。同9月に全マチュア人形劇団「び」
「O」の形をした男の子。校児童約770人による「つくりばこ」の藤原泰
ランドセルを背負い、左投票で細野なみ杏さん之さん(69)が人形にし
手を挙げて「おー」と声(12)のキャラが選ばれようと発案。3Dプリ
を弾ませている様子を表した。プリントや教諭の名ンターで木の骨格を作
現している。6年生13刺に印刷して活用されてり、和紙を貼り合わせ
4人がマスコットを作っている。
イラストを見た人形劇服と同じ素材とデザイ

糸操り人形できた

あさがくしゅう
朝学習の時間に
チャレンジしよう



アマ劇団 学校紹介など活用

15日、藤原さんらがほぼ完成させた人形を学校に持参し、細野さんが絵の具で目を描いて完成させた。細野さんは「私は卒業するが、おーくんが邑久小のみんなに親しまれるキャラになればうれしい」と言い、藤原さんは「いろいろな場面で活用してもらい、子どもと一緒に人形も成長してほしい」と話した。
邑久小では人形劇クラブ「どんぐり」に4く6年生17人が所属。「喜之助人形劇フェスタ」に出演するなど人形劇文化の継承にも取り組んでいる。

ンの服を着せた。ランドセルや教科書、帽子を含め約半年かけて作った。手足や頭には計13本の糸を付けており、自在に動かせる。

Q1 邑久小のマスコットキャラクター「おーくん」は6年生が考えました。なぜマスコットを作ろうとしたのでしょうか。第2段落を読み答えましょう。

Q2 完成した糸操り人形は、何に活用しますか。第1段落や見出しを参考に答えましょう。

Q3 邑久小は瀬戸内市出身の人形師・竹田喜之助にちなんだ活動を行っています。おーくんの人形以外にどんな取り組みをしていますか。第5段落を参考に答えましょう。

過去の問題は
こちらから▶▶

◇「さん太のワークシート」は自由にダウンロードして、学校や家庭での学習に活用してください。